



事業創造

理論と実践

島田直樹 著 WAVE出版 1800円+税/231ページ

profile

しまだ・なおき
ピー・アンド・イー・ディレクションズ代表取締役。成長戦略の立案、実行を支援。一橋大学卒業。米マサチューセッツ工科大学スローン経営大学院修了。アップル日本法人などを経る。

02

実行支援から得られた 成功のヒントを凝縮

評者 スクウェアイブ社長
黒須豊

本書には、独立系の経営コンサルタントが20年にわたる事業創造実行支援（起業と社内新規事業の双方）から得た成功のヒントが凝縮されている。

著者のアプローチはややユニークなもので、従来の理論とは趣を異にする部分がある。ただし、著者は大学で教鞭をとる立場にもあり、単に奇をてらった珍しいだけの考えを主張しているわけではない。

基本的な経営学の理論の上に、著者自身が関わった成功事例から、事業創造のプロセス等形式論ばかりではなく、

事業創造に成功する人の特性に触れるなど、多面的な分析を試みている。

これは、おそらく著者のこれまでの顧客に対する一貫した姿勢を端的に示しているのではないだろうか。

つまり、一般化した理論のみに依拠するのではなく、如何に顧客の事業創造を成功に導くのかを、あらゆる面から徹底的に考え抜くことにより、さまざまな観点から施策検討を実施してきたのではないかと評者は推察する。

著者は事業創造に成功する人が持つ特性として①謙虚・素直 ②勤勉 ③飽くなき上昇志向 ④朝令「朝」改 ⑤感謝の姿勢 ⑥節約消費と大胆投資、⑦パッションを挙げている。

どれも同感の項目が並んでいる。④については、感謝の対象として顧客を想像する人が多いと思われるが、どちらかといえば、むしろ自身の夢を実現するための協力者に対して、そして、社員に対してのものであるらしい。

本書は、所謂アントレプレナーと社内起業家であるイントプレネラー双方にとって、いざ事を運ぶ際に指針を提供してくれる気軽に読める1冊と言えよう。